

かがやけ未来の男鹿プロジェクト

「住みよい男鹿をめざして～ごみについて考える～」



「ごみ減量化」についての
子どもたちからの提案です。

市内全小学校の6年生が取り組んできた、ごみ減量について考える学習の成果の発表会が11月29日に開催されました。発表会では、ごみ減量化に向けた提案が数多くありました。子どもたちからの提案を紹介します。

子どもたちからの提案 「エコクッキング」

ごみを減らすために、今まで捨ててしまっていた食材を調理しておいしく食べることができました。みなさんも今まで捨ててしまっていた食材を使える料理を試してみてください。



大根と人参の皮
を使ったきんぴら



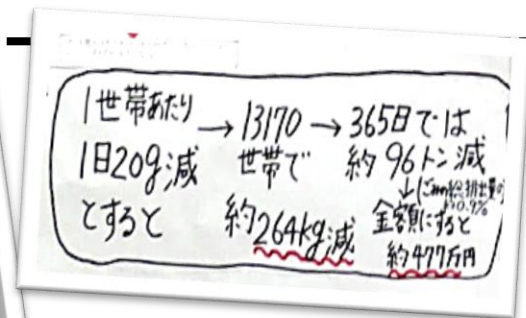
かぶの葉の
ふりかけ

【船越小の発表より】

子どもたちからの提案は
まだまだあります。裏面も
ご覧ください。

子どもたちからの提案 「生ごみの水切り」

生ごみの水切りをすると、ごみの量が減り、ごみを燃やしやすくなります。ごみの量が一番多い8月と燃えるごみに含まれる水分量が多い2月に水切り強調月間を設定して、男鹿市民みんなで取り組むといいと思います。



【北陽小の発表より】

子どもたちからの提案

「使い捨てする物は買わない、もらわない」

生活を見直して「使い捨て」する物は、
買わない、もらわない生活を徹底しよう。

【脇本第一小の発表より】

＜私たちの取組＞

1. ごみになる物をことわる
2. エコバッグを使う。
3. ティッシュではなくふきんを使う。
4. 本当に必要かどうかよく考える。

そうすればきっと「自然が豊かで、人々が住みやすい」と思える街になる。

ことわらないでごみになる物は、たくさんあるね。どうしたらいいかな?

ことわる → エコバッグを使う。

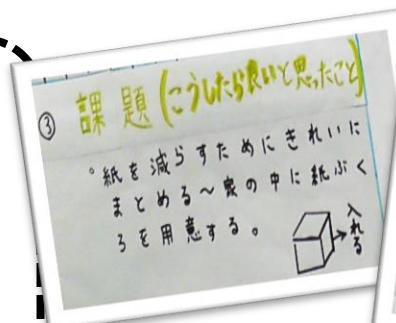
ことわる → 金属のスプーンを使う。



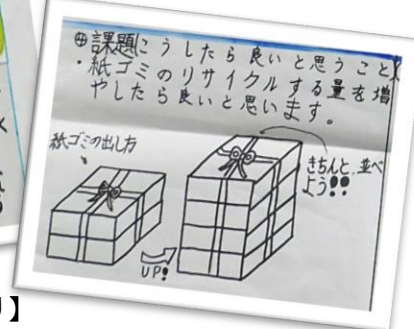
子どもたちからの提案 「雑ごみは“古紙の日”に」

雑がみは、燃えるごみの日ではなく、「古紙の日」に出して、リサイクルする量を増やそう。雑がみや古紙を入れる箱や袋を準備すると、意識して分別できます。

「雑がみ」とは・・・お菓子の箱、メモ用紙、ほうそう紙 等
家庭にある紙製品のほとんどがリサイクルできます。



【船川第一小の発表より】



子どもたちからの提案 「生ごみを肥料に」

生ごみから肥料を作ることができます。
生ごみの量を減らすことができますよ。

③生ごみを肥料に(コンポスター)
生ごみを使って肥料を作る。生ごみが減り、肥料として使えるので、一石二鳥。

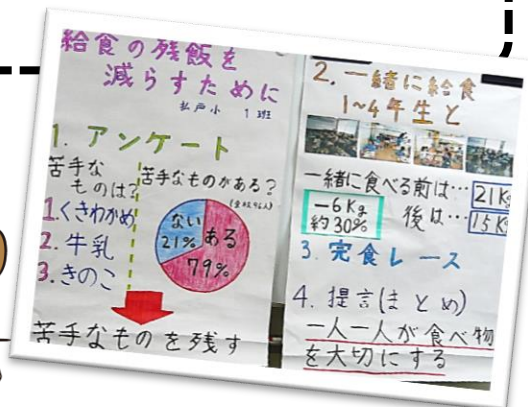


【美里小の発表より】

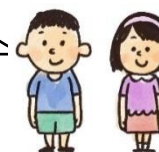
子どもたちからの提案 「給食は完食」

給食を残さず食べて、学校から出るごみを減らします。

【払戸小の発表より】



意識を高めよう
ごみを減らそう



子どもたちの「学習のまとめ」より

ごみの減量化は、自分たちでもできますが、大人の協力も必要です。

小さいことでも、家族みんなで協力して、続けることが大切だと思いました。

エコバッグを使う、不用品を材料にした物づくり等、子どもたちからの提案はまだありました。ぜひ、家族みんなで楽しみながら「ごみ減量化」に取り組んでみてください。